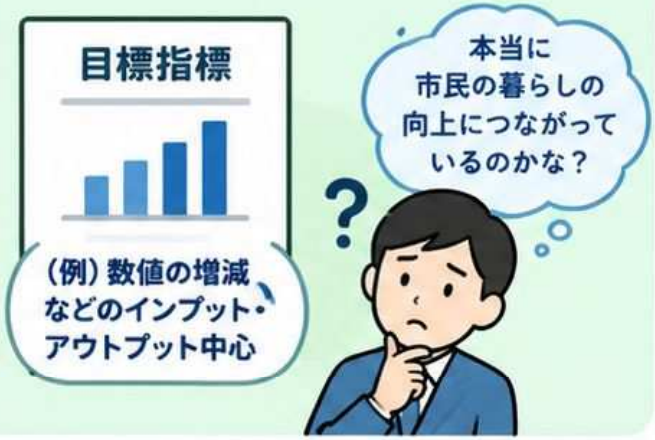
# 第2次佐伯市総合計画について

## 1 各個別計画と総合計画がリンクしていない部分がある




## 2 総合計画の目標指標がアウトカムを表していない（あるべき姿）




## 3 成果指標（KPI）の設定に課題がある




## 4 総合計画が市民の皆様にあまり知られていない




## 5 文字が多くて読みづらい




## 6 市民の思いと計画の内容が乖離している



# 第3次佐伯市総合計画での改善事項

## 1 総合計画と各個別計画の連動を明確化

総合計画内に各個別計画との関係性を明記するなど計画同士のつながりをわかりやすくする。




## 2 政策指標を設定

事業を実施した結果、「市民の暮らしや意識がどう変わったか」を捉える指標を設定する。




## 3 施策指標（KPI）を適切に設定

施策の進捗や取組の成果を確認できる指標とし、政策指標との関係を明確にする。




## 4 市民・職員が関わり、理解しやすい計画づくり

総合計画の資料編に、市民アンケートや市民ワークショップによる市民の声などを掲載し、計画策定の過程を分かりやすく発信する。




## 5 見やすく、分かりやすい計画書へ改善（概要版も見やすくする）

文章を簡潔にするとともに、図・写真・イラスト・グラフ等を活用し、誰でも理解しやすい構成とする。




## 6 市民の声を計画に反映する仕組みを強化

アンケート、ワークショップ等で把握した市民の意見を、施策や将来像に反映し、「市民の思いが見える計画」とする。

